



豊小だより

2020.7.16



みのりっ子はインターネットと上手く付き合ってる？



コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスをとるためにインターネットを介してオンラインでのやりとりの機会が増えています。子供たちも、臨時休業中にネット動画を見たり、オンラインのゲームに没頭したりして、インターネットの情報に多く触れるようになっていきます。中には、就寝時間が遅くなり、生活リズムを整えるのが難しい状況にある子も見受けられます。

そこで、7月1日(水)3~6年生を対象に、情報モラル講習会を開催しました。講師は福井市青少年愛護センターの竹野泰弘先生です。昨年度は、保護者の方にも公開したのですが、コロナウイルス感染防止のため、子供たちが書いたワークシートやリーフレット「スマホ時代の子どもたちのために」を持ち帰り見ていただくことで、ご家庭での状況を振り返ったり、スマートルールを見直したりする機会を設けました。



講習会では、以下のようなお話を聞きました。

- ・ネット依存症による健康被害の症状(ブルーライトによる目への影響や体内時計の変調)
 - ・ネットで知り合った相手のなりすましによる被害や自撮りによる被害の怖さ
 - ・インターネットやオンラインゲームをするということには責任が生じるということ
- 最後に、ネットと上手く付き合うためにこれから取り組んでほしいこととして

- ① ネット以外で熱中できることを見つける
- ② ルールとルールを守れなかったらどうするかを決める
- ③ フィルタリングを設定してもらう



の三つを挙げて、お話してくださいました。

講習会を終えての子供たちの感想です。



3年Tさん

インターネットやスマホ、携帯、ゲームは危険がいっぱいです。インターネットを使うときは、必ず大人の人に言ってからやります。

知らない人とのやりとりはやってはいけないことが分かりました。休みの日もゲームばかりではなく、なるべく外で遊びたいと思いました。



4年Fさん

インターネットを使うときは「自分で責任をもつ」ということが大事だと思いました。特に気をつけようと思ったことは、知らない人とやりとりをしないことと自分の写真を送らないということです。



5年Mさん



6年Kさん

親が厳しすぎるのも甘すぎるのも子供にとっては悪影響なので、やはりネットに関する親子の相談は必要だと思います。ネットはとても便利なので、使用するときはどんな危険があるかしっかり確認し、ルールを守って使いたいです。

講習後、インターネットの利用等に関する調査を実施しました。ご協力いただきありがとうございました。結果から見えるみのりっ子のネット利用状況は裏面のとおりです。

特に、ネット利用時間の多さが気になります。高学年では、オンラインのゲームでのトラブルや睡眠時間、過激な言葉遣いなどの問題が生じています。今一度、親子でスマートルールの見直しと実行に向けた工夫をお願いします。

【インターネットの利用等に関する調査より】

○平日や休日、学校以外で1日あたりどれくらいの時間、インターネットを利用していますか。
(1～3年生)

平日の利用時間



休日の利用時間



(4～6年生)

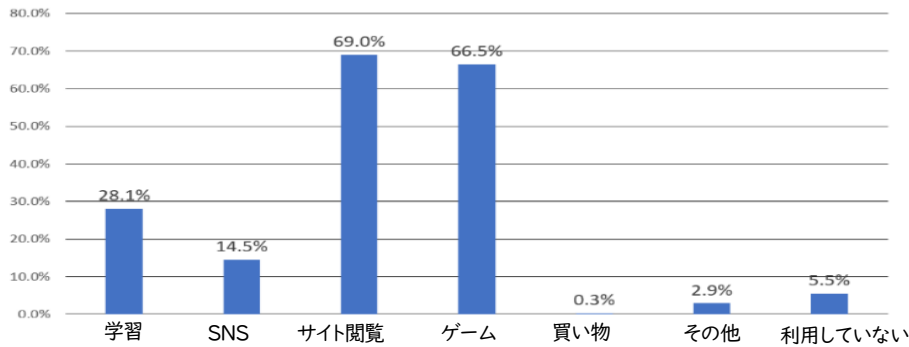
平日の利用時間



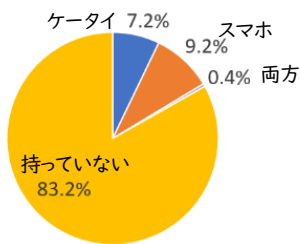
休日の利用時間



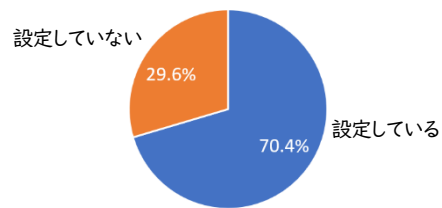
○インターネットであなたがよく利用するものはどれですか。(3年生以上)



○自分専用のケータイまたはスマホを持っていますか。(全学年)



○ケータイ・スマホはフィルタリングが設定されていますか。(持っている児童のみ)



お知らせ

コロナウイルス感染症対策として、授業参観等で子供たちの学校生活の様子を見ていただく機会がありません。そこで、本校ホームページで毎日の出来事を公開しています。個人情報保護の観点から個人が特定できない範囲での写真掲載となっているため、様子が分かりにくい点もありますが、ぜひご覧ください。



豊小ホームページ (<http://www.fukui-city.ed.jp/minori-e/>) のここをクリック